

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2017年2月22日

コニカミノルタが採択を受けた事業に協力し 介護現場の業務効率化を検証

- 厚生労働省の「介護ロボット活用介護技術支援モデル事業」に全面協力
- コニカミノルタの「ケアサポートソリューション™」を活用して介護業務全体を効率化
- 業務効率化によって介護スタッフの負荷軽減と介護サービスの質の向上に貢献

ミサワホームグループの株式会社マザアス（本社 東京都新宿区／代表取締役社長 吉田肇）は、社会福祉法人さくら会（所在地 東京都品川区／理事長 前田武昭）と共同運営する「ケアホーム西五反田」にコニカミノルタ株式会社（本社 東京都千代田区／代表執行役社長 山名昌衛）が開発した「ケアサポートソリューション™」を設置し、介護現場の業務効率化を検証します。この取り組みは、コニカミノルタが採択を受けた厚生労働省の「介護ロボットを活用した介護技術支援モデル事業」として実施されるものです。

介護スタッフは、食事や入浴の支援以外にも入居者の安否確認や非常時の駆けつけ、ケア記録の作成、スタッフ同士の情報共有などさまざまな業務を手掛けるため身体的・精神的負担が大きくなりがちです。また、今後の人口減少に伴い介護スタッフの慢性的な不足も懸念されます。このような中で介護人材を確保するためには、業務負担軽減をはじめ勤務環境の改善が喫緊の課題です。厚生労働省は介護スタッフの負担軽減に貢献する介護ロボットや見守り支援機器の導入支援等に取り組んでおり、今回のモデル事業はこれらの機器を導入する施設のスタッフがその使用方法を熟知し、効果的に活用するためのノウハウ構築支援を目的に実施されます。

今回のモデル事業で使用される「ケアサポートソリューション™」は、ICTを活用して介護業務全体の効率化を目指すシステムです。コニカミノルタ社独自のセンシング技術と画像処理技術を生かして入居者の起床、離床、転倒などを検知し、その情報を介護スタッフへ通知したり、介護スタッフが使用するスマートフォンからケア記録の作成や入居者情報の共有をしたりすることが可能です。コニカミノルタは、この有効性を検証するためには、経験豊かな介護スタッフが多く勤務しており既に業務効率が高い施設での検証が適切であると考え、その条件に合致したケアホーム西五反田との連携を決定しました。ケアホーム西五反田では、全3フロアのうち1フロア27床を対象に「ケアサポートソリューション™」を導入し、従来の介護体制と比べてどの程度の業務負担軽減が可能かを検証します。さらに、介護スタッフの使用実績をもとに更なる業務改善に取り組むとともに、創出できた時間をレクリエーションやリハビリの充実、自立支援介護の強化などに割り当てるなど、介護サービスの品質向上も検討します。

マザアスは、20年以上にわたる介護施設の運営を通じて介護スタッフの勤務環境の改善や介護サービスの品質向上に努めてきました。今回の取り組みにより業務効率化をさらに推進し、介護現場の働き方改革にもつなげていく考えです。

■「ケアサポートソリューション™」の特長

「駆けつけ業務」が変わる

導入前

- ◆介護スタッフは、入居者様の状況を把握できず、ナースコールの通知時に部屋へ駆けつけていたため、無駄な移動が多く発生し、業務効率が著しく低下していた。

導入後

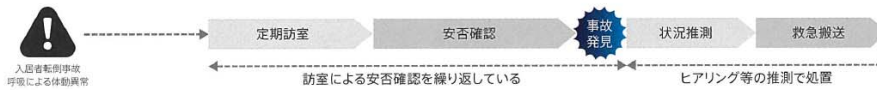
- ◆起床、離床等の通知時に映像を見て入居者様の状況を把握できるので、無駄な駆けつけ移動がなくなるほか、映像で入居者様の次の行動を予測し準備ができるので、介助業務の効率が向上します。



「転倒・転落時への対応」と「夜間安否確認」が変わる

導入前

- ◆夜間の安否確認は、定期巡回による訪問のため、入居者様の転倒・転落事故等の異常の発見に時間を要していた。
- ◆転倒・転落事故発生時、入居者様へのヒアリング等で状況を把握していたため、正確な情報把握ができず、推測で処置をしていた。



導入後



- ◆介護スタッフが少ない夜間でも、呼吸による体動の異常を通知するため、安否確認を効率的に行うことができます。
※呼吸による体動異常の通知は、蘇生を目的としたものでなく、あくまでも介護業務をサポートする機能です。
- ◆転倒・転落時の記録映像により、事故発生時の状況を正確に把握できるので、より適切な処置が可能に。原因究明や事故防止にも役立ちます。

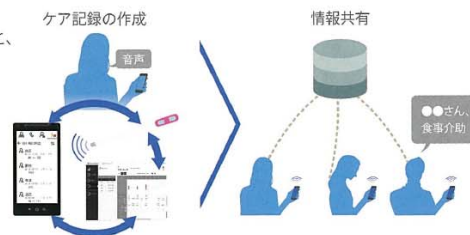
「ケア記録作成」と「情報共有」が変わる

導入前

- ◆現場でとったメモや記憶したケア情報を所定用紙に記入し、ケア記録作成を行っていたため、記録業務に多くの時間を要していた。
- ◆口頭での伝達や定時の申し送りにより情報を共有していたため、時間を要し、さらに連絡の遅れや連絡ミスが発生していた。

導入後

- ◆介護現場でのスマートフォンによるケア記録入力と、Bluetooth接続のバイタル機器との連携でケア記録の作成時間を短縮できます。
- ◆介護現場での音声入力とスマートフォンからの情報配信により、リアルタイムで関係スタッフへの情報共有を可能にします。



■モデル事業概要

事業名称：平成 28 年度介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業

事業者：コニカミノルタ株式会社

実施施設：要介護者向け高齢者住宅「ケアホーム西五反田」（1フロア 27床）

検証内容：「ケアサポートソリューション™」導入前後の介護スタッフの業務量を測定し、業務効率化の度合いを検証する

検証期間：2017年1月～3月

以上

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部コーポレートコミュニケーション課 中田義規 宮田智
TEL03-3349-8088/FAX03-5381-7838 E-mail : Satoshi_Miyata@home.misawa.co.jp